

第3章 稲荷地区のまちづくりの方向性

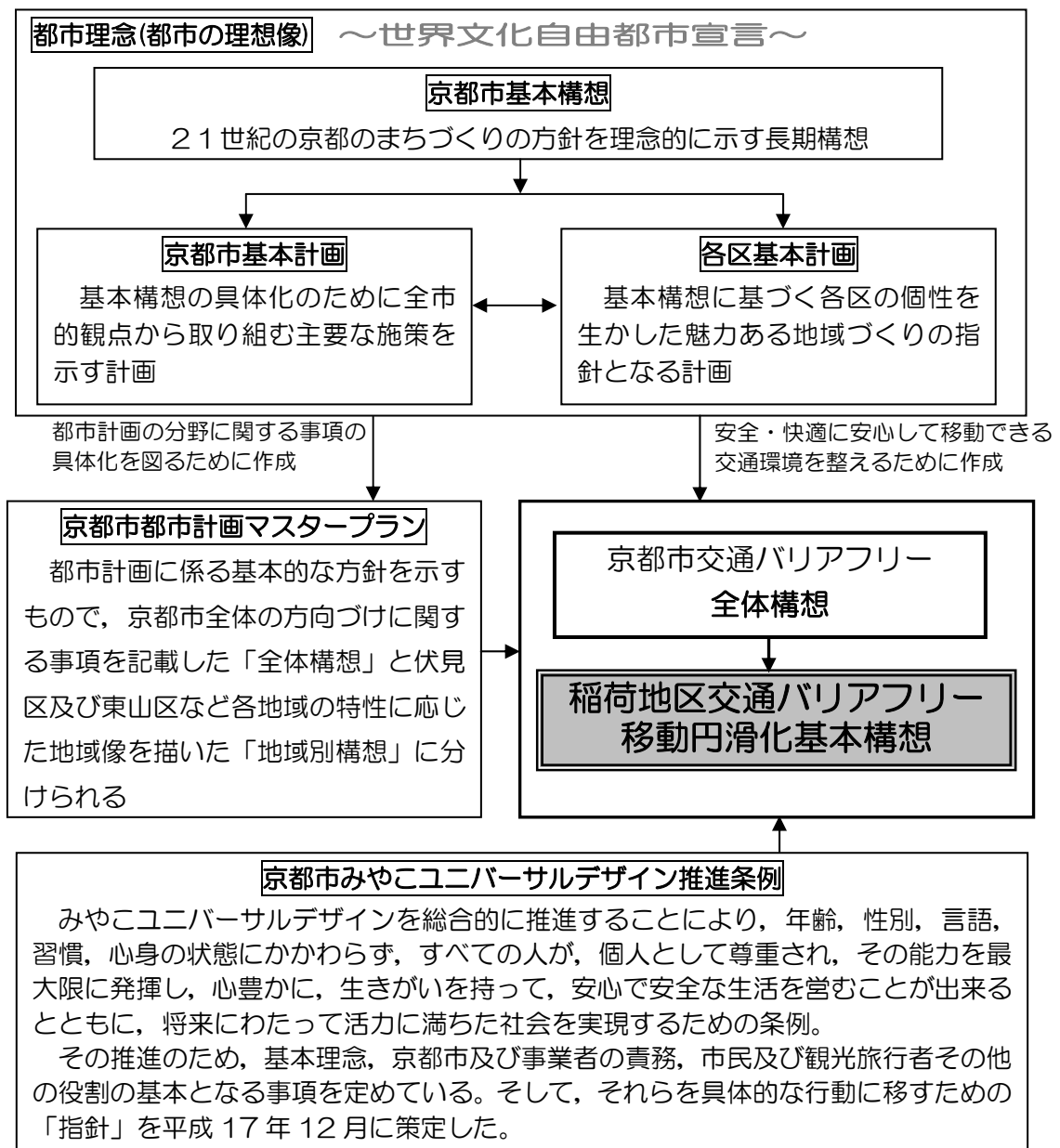
稲荷地区基本構想は、京都市基本計画や京都市都市計画マスタープランなどの京都市の上位計画に掲げられている“バリアフリーのまちづくり”の一環として位置付けられるものです。

稲荷地区基本構想は、JR稲荷駅と京阪伏見稲荷駅を中心とした比較的狭い地域を対象としたものであるため、地区の特性やまちづくりの方向性にも十分に配慮した構想を策定することが必要となります。

このことから、稲荷地区基本構想を策定するに当たり、京都市の上位計画における伏見区及び東山区のまちづくりの方向性を踏まえたうえで、稲荷地区のまちづくりの方向性を整理することとします。また、京都市のまちづくりやユニバーサルデザインの考え方の基本的な方向性を、稲荷地区基本構想においても反映させていきます。

1 上位計画・関連計画の構成

図-8 上位計画・関連計画の構成



2 各行政区のまちづくりの方向性

京都市では、都市理念を踏まえた京都市基本構想を受けて、京都市基本計画が策定されています。さらに、各行政区でこの京都市基本構想に基づいて、各区の個性を活かしたまちづくりの計画を策定しています。また、都市計画に係る基本的な方針を示す京都市都市計画マスタープランにおいても地域別構想として各地域の地域像を示しています。

稲荷地区が含まれる各行政区のまちづくりの方向性を各区基本計画と京都市都市計画マスタープランの地域別構想から示します。

(1) 伏見区のまちづくり

伏見区のまちづくりの方向性は、上位計画の伏見区基本計画と京都市都市計画マスタープランの地域別構想から以下のように示すことができます。

○伏見区基本計画

伏見区基本計画では、目標像である「水と緑の温もりでひらく都市（まち）－伏見」の実現に向けたまちづくりの目標と取組を提示しており、この中で以下の5つの重点施策を掲げています。

- ① 環境にやさしい・行動するまち
- ② 自然と歴史がいきづく個性と魅力のあるまち
- ③ 『伏見力』を生かすまち
- ④ ふれあいと温もりのある、健康でいきいきと暮らせるまち
- ⑤ 安心・安全、人にやさしい便利なまち

○京都市都市計画マスタープラン（地域別構想）

京都市都市計画マスタープランの地域別構想においては、伏見区のまちづくりについて以下の4つの目標を掲げています。

- ① 都市居住からみた目標
基盤が整い、優れた住環境を備えたまちをつくる
- ② 都市活動からみた目標
新産業を生み出し、京都の新しい活力を支えるまちをつくる
- ③ 都市環境からみた目標
個性ある歴史と豊かな水辺環境の調和したまちをつくる
- ④ 都市交通からみた目標
多様な都市活動を支える交通基盤の整ったまちをつくる

(2) 東山区のまちづくり

東山区のまちづくりの方向性は、上位計画の東山区基本計画と京都市都市計画マスタープランの地域別構想から以下のように示すことができます。

○東山区基本計画

東山区基本計画では、将来像である「**伝統・創造・文化 やすらぎとふれあいのまち・東山**」の実現に向けたまちづくりを目標として提示しており、この中で以下の3つのキーワードを掲げ、まちづくりの方向性を示しています。

- ① **安心**
さまざまな世代がいきいきと住み続けられるまち
- ② **魅力**
多彩な個性と創造がきらめくまちづくり
- ③ **交流**
出会い・ふれあいを育むまちづくり

○京都市都市計画マスタープラン（地域別構想）

京都市都市計画マスタープランの地域別構想においては、東山区のまちづくりについて以下の4つの目標を掲げています。

- ① **都市居住からみた目標**
職と住が共存し、多世代が住み続けられるまちをつくる
- ② **都市活動からみた目標**
伝統産業ともし業の魅力あるまちをつくる
- ③ **都市環境からみた目標**
東山の自然と山すその豊かな歴史環境を生かしたまちをつくる
- ④ **都市交通からみた目標**
歴史と文化を探訪できる、歩いて楽しい魅力的なまちをつくる

3 稲荷地区のまちづくりの方向性

上位計画に示されている伏見区及び東山区のまちづくりの方向性を踏まえ、稲荷地区のバリアフリー化を推進していくに当たって配慮すべき稲荷地区のまちづくりの方向性を以下のように整理します。

「水と緑の温もりでひらく都市（まち）・伏見」

「伝統・創造・文化やすらぎとふれあいのまち・東山」

（1）だれもが安心・安全・快適に活動できるまちづくりの推進

高齢者や身体に障害のある方を含むすべての人々が安心・安全・快適に生活し、買い物や散歩などにも気兼ねなく出かけられ、地域の集まりや催し物にも参加できるといった、自らの意思で自由に行動ができる“活動できるまちづくり”を推進します。

（2）だれもが利用しやすい交通施設整備の推進

伏見稲荷大社への玄関口として、市民生活や都市活動を支える核施設として、より快適で使いやすい公共交通を目指した施設整備を推進します。また、公共交通だけでなく伏見稲荷大社や大学、高校など周辺施設への移動が安心・安全にできる文教地区にふさわしいまちづくりを推進します。

（3）ふれあいと温もりのあるまちづくりの推進

地域で育まれているコミュニティを活かし、地域の住民だけでなく稲荷地区を訪れる高齢者や身体に障害のある方への理解を深めるとともに、手助けなどの協力が地域ぐるみで行えるまちづくりを推進し、訪れる人々も温もりを感じることで活動できるまちづくりを推進します。